

# エコアクション21

# 環境経営レポート



第15版

2024年版

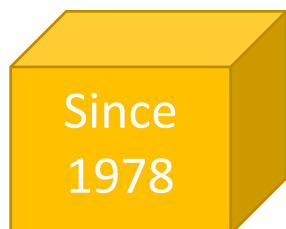
取組期間

2024年1月1日～12月31日

発行日

2025年9月30日

## 荅陽工業株式会社



*Reiyo*

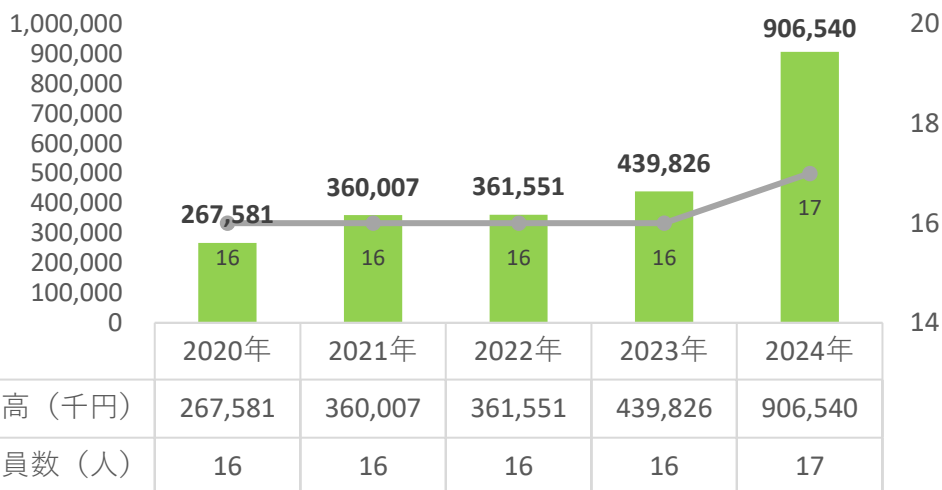
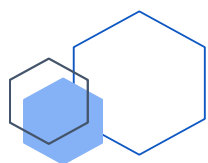
# 目次

---

- 1 会社概要・沿革
- 2 事業案内
- 3 環境経営方針
- 4 組織図
- 5 これまでの負荷実績
- 6 今年度の目標と実績・次年度の目標・環境効率性
- 7 環境活動内容と評価
- 8 次年度の環境活動計画
- 9 防災訓練・社会貢献活動
- 10 保有車両
- 11 ①EA21全体会議  
②環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 12 代表者による全体評価と見直しの結果

## 会社概要

事業所名	苓陽工業株式会社
代表者	代表取締役社長 毛利尚之
所在地	〒863-0003 熊本県天草市本渡町本渡4475-1
創業	1978年(昭和53年)3月14日
連絡先	TEL:0969-23-5455 / FAX:0969-23-5457 info@reiyo.co.jp
環境管理責任者	総務経理部 宮本
環境事務局	総務経理部 鯖江 宮本
環境活動期間	2024年1月~2024年12月
事業内容	土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業 特定建設業 熊本県知事 許可(特-1)第006647号
資本金	3,000万円
敷地面積	5000㎡
事業規模	



## 沿革

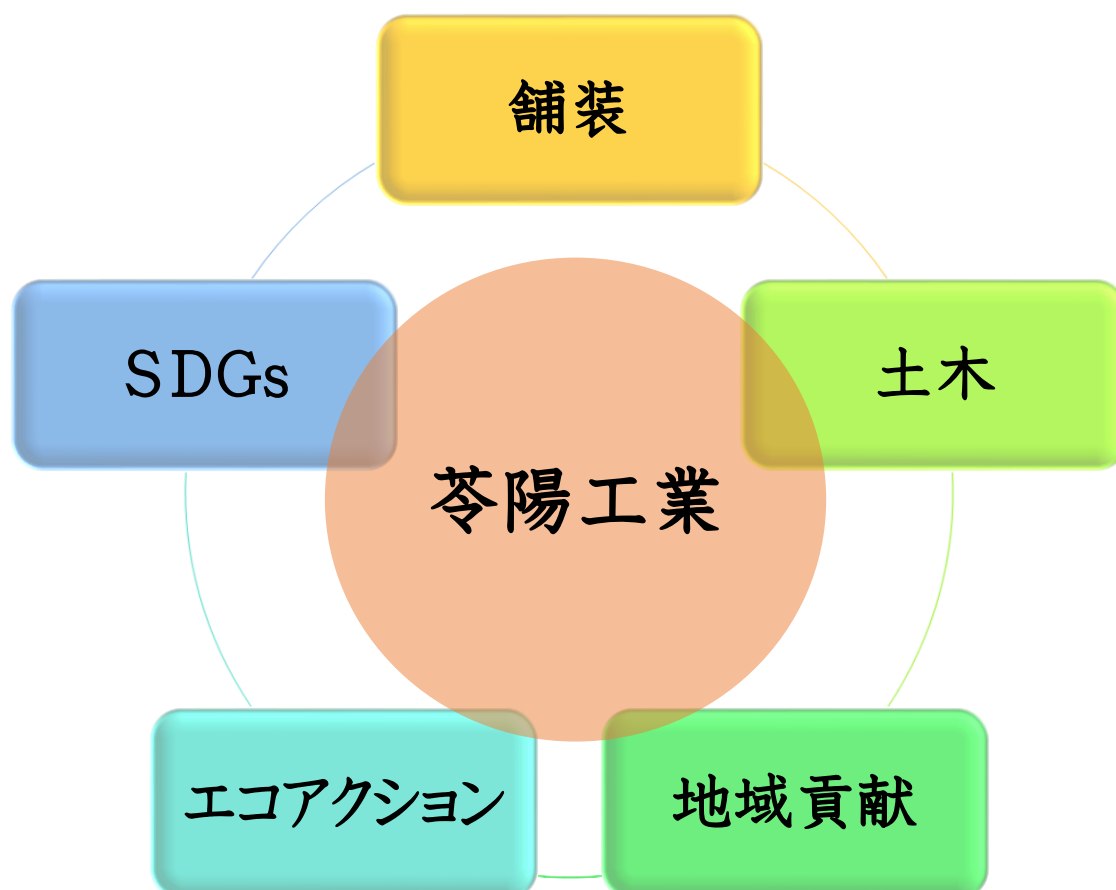
1978年(昭和53年)3月14日	苓陽道路有限会社創業 資本金500万円
1978年(昭和53年)4月21日	建設業の許可を受ける
1983年(昭和58年)1月21日	苓陽工業有限会社(商号変更)
1986年(昭和61年)10月21日	資本金1,000万円に増資
1993年(平成5年)10月1日	苓陽工業株式会社(組織変更)
1997年(平成9年)8月19日	資本金3,000万円に増資
2021年(令和3年)1月3日	毛利尚之 代表取締役に就任



県道や市道のアスファルト舗装をメインに、技術と経験を持った職人による、保有建設機械を使った豊富な施工実績があります。個人住宅駐車場舗装や宅地造成等にも幅広く対応しています。



冬季には道路交通確保のため、除雪作業も請け負っています。環境への負荷を軽減しつつ、質の高い環境保全のための工事を心がけ、あらゆる要望に応える仕事を確かな技術力で実現します。



## 舗装

「道づくり」は荅陽工業の原点



創業当初から

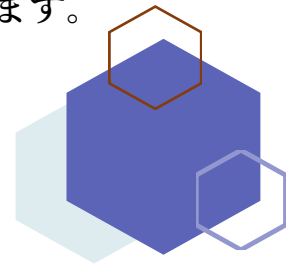
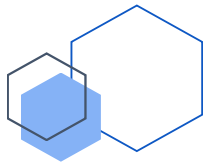
もっとも大きな柱と位置付けている事業です。

信頼を積み重ねて42年。道路とともに歩んできました。

常に「高品質な施工」を意識して作業に取り組む技術力には絶対の自信があります。

人々の想いが込められた未来への道は荅陽工業がつくります。

安心して安全な新しい世界を目指して進化し続けます。



## 土木

美しい環境づくり

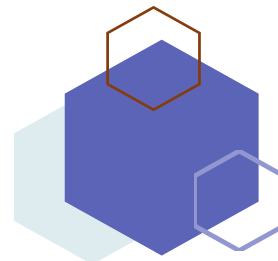
道路改良、駐車場整備、宅地造成、  
地盤改良、基盤整備、伐採掘削など、  
快適な生活と心地よい空間を提供する  
ため地道に努力しています。



派手な仕事ではないですが、  
人々の足元を支えるという  
社会で一番大切なことを担っています。

## 地域貢献活動

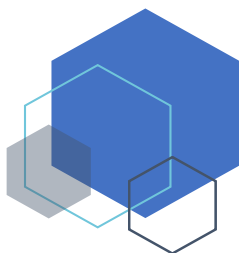
地域に根差した会社へ



清掃、除草、カーブミラー磨き、小学校のグラウンド整地、  
ごみ収集庫寄贈など行なっています。

車も人も安全に通行できるようにすることで、交通事故防止に  
繋がっています。

地元住民の方が少しでも暮らしやすい街にするために、  
これからも活動が続けていきます。



## エコアクション

環境への取組

環境省が策定した日本独自の環境マネジメント  
システム（EMS）。

一般に「PDCAサイクル」と呼ばれるパフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、  
組織や事業者等が環境への取り組みを自主的に  
行うための方法を定められています。



実施体制の構築、環境への負荷や取組の自己  
チェック、環境経営方針の策定、環境経営目標  
や計画、実施、活動の評価や見直しを毎年行な  
い、地球環境のための活動が続けています。

# SDGs

## 持続可能な開発目標

「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。

私たちの人生は小さな選択や決断の連続でつくられています。小さなひとつひとつのその先にある、少しでも明るい未来のために、自分ができること、自分たちができることに最大限の努力を注ぐ。

舗装業を通して、ヒト、生物、モノ、ココロ、地球とそこに生きる限りある命を守るための活動を行なってまいります。



3 すべての人に健康と福祉を

- 交通安全教育を行ない交通死亡事故の減少。
- G.W、お盆、年末年始の長期休暇



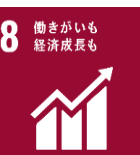
4 質の高い教育をみんなに

- 資格取得や職人技術向上のための必要講習受講費用を会社補助。



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- 環境配慮型 (ハイブリッド車) を導入。
- 社内の電気をLEDへ順次変更。



8 働きがいも経済成長も

- 定年後の再雇用
- 資格・免許取得のサポート



11 住み続けられるまちづくりを

- リサイクル型防草対策工法による道路の雑草抑制。
- 廃棄物の削減、適正処理、ごみ分別の徹底。
- 近隣清掃ボランティア



12 つくる責任つかう責任

- 建設工事で発生するコンクリートやアスファルト廃材の再利用。再資源化の強化。
- 安心・安全に直結する道づくり。

## 熊本県SDGs登録事業者 第1期取得



# 環境経営方針

私共、道路屋・苓陽工業株式会社は、人と自然との境界線に道路がある事を認識し、人と自然の共存共栄をはかり、自然とのつながりを大切にした道路の設計施工に努力します。

1. 当社は、自然環境に配慮した、設計・施工を提案いたします。
2. 当社は、安全でスムーズに走行できる道路設計の提案及び設計施工に努力いたします。
3. 当社は、建設機械の使用による、騒音・排ガス及び振動を減少させます。また、粉塵等の公害を防ぎ、近隣住民の環境への配慮に努めます。
4. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力いたします。
5. 土木工事業・舗装工事業・とび・土工事業の事業において環境に与える影響を軽減する為、次の事項に対して優先的に取り組みます。
  - ①二酸化炭素排出量の削減  
(設備運転・空調・車両管理等による電気及び燃料使用量の削減)
  - ②事業活動により排出される一般及び産業廃棄物の削減及びリサイクル促進
  - ③節水活動による水使用量の削減
6. グリーン商品の購入に努め、循環型社会の実現に貢献いたします。
7. 環境保全に関する啓蒙・啓発と地域での社会貢献に努めます。
8. 自然エネルギーの有効活用に努めます。
9. 化学物質は適正に管理します。
10. 当社員は環境意識を高め、日常に環境を意識し、肩の力を抜いて出来る限りの努力をいたします。
11. 環境経営の継続的改善を誓約します。
12. SDGsを支持し、取り組みを推進します。

この方針は当社全従業員に周知徹底するとともに一般に開示いたします

制定日 2011年12月1日

改正日 2021年1月4日

苓陽工業株式会社  
代表取締役 毛利尚之

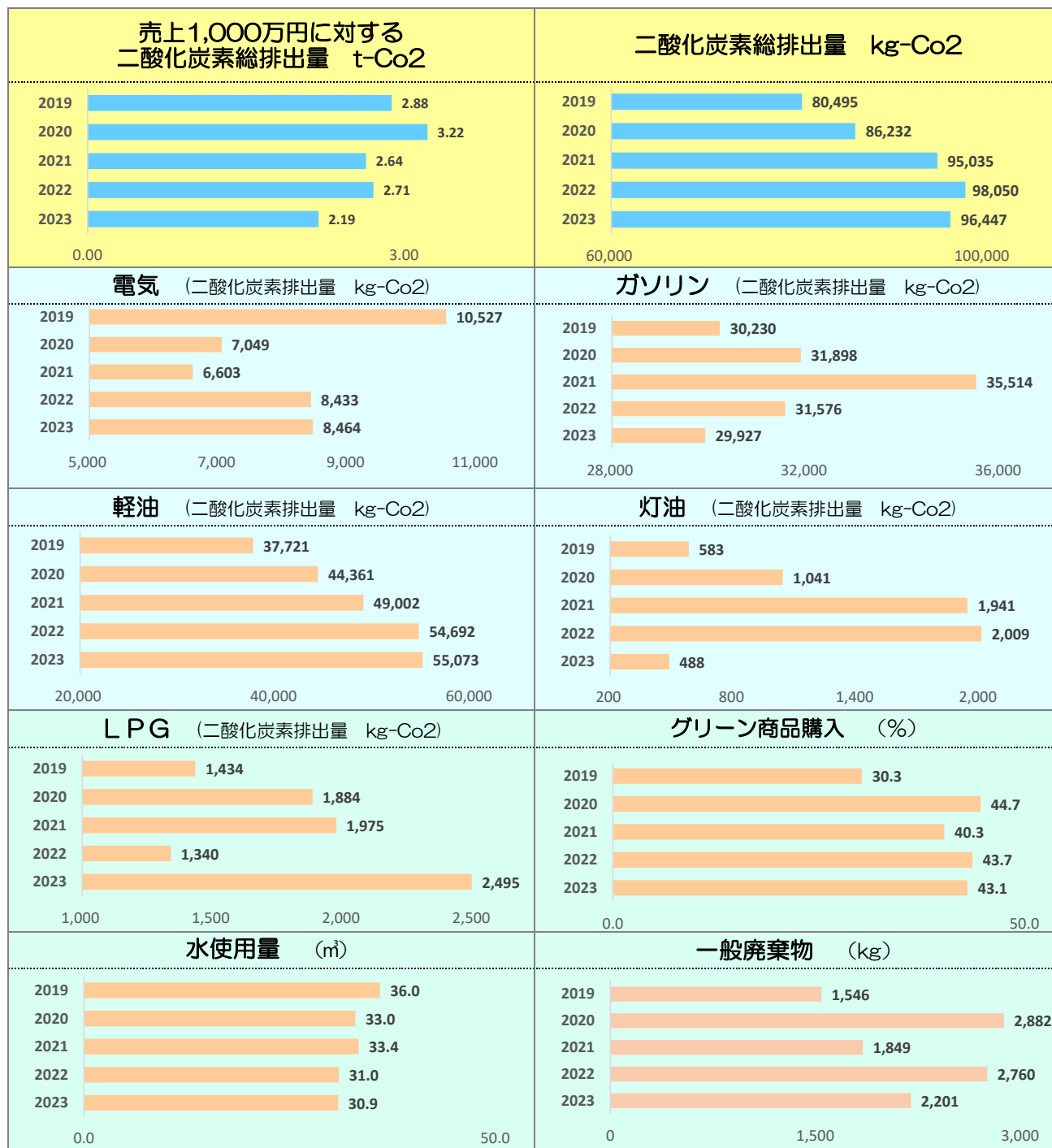
# 組織図

2021年1月3日現在

代表者	毛利尚之	EA2I責任者の任命 環境方針の策定 経営資源の準備 代表者による全体の評価と見直し 環境経営レポートの承認 環境目標及び環境活動計画の承認
EA2I責任者	宮本	EA2Iシステムの確立、実施推進、維持管理 環境への負荷および取組への自己チェックの実施 環境目標および環境活動計画の策定 EA2Iに関する実績把握と報告 EA2I環境経営マニュアルの作成
EA2I委員会	鯖江 宮本	環境活動計画の結果確認 各部門からの結果報告に基づいて改善策を検討 活動手順の周知・徹底 次年度の目標設定 毎年1・7月に委員会を開催する
EA2I事務局	鯖江 宮本	EA2I責任者の補佐業務 環境関連法規のとりまとめ及び遵守状況確認 環境文書及び記録の作成、管理 その他のEA2Iに関する業務 教育、訓練計画の策定の実施 環境経営レポートの作成 PDSAサイクルの状況把握
事業所部門	(責任者) 松下	環境目標及び環境活動計画の結果確認 活動マニュアルの検討及び見直し 担当者からの要望など取りまとめ委員会へ報告 エアコン使用を含む電気器具の使用状況 一般廃棄物の分別・排出量の削減 リサイクル商品購入の推進 エコキャップ運動推進 水使用状況の確認 事務所内の清掃
工事現場部門	(責任者) 大寺	環境目標及び環境活動計画の結果確認 活動マニュアルの検討及び見直し 担当者からの要望など取りまとめ委員会へ報告 車両・重機の点検修理 エコドライブの周知徹底 安全かつ効率の良い重機操作の指導 倉庫及び敷地内の清掃 危険物及び油脂類の保管管理 一般廃棄物の分別

## これまでの負荷実績

※購入電力の Co2 排出係数は、九州電力の2022年度の係数 0.399kg/kwh を用いた。

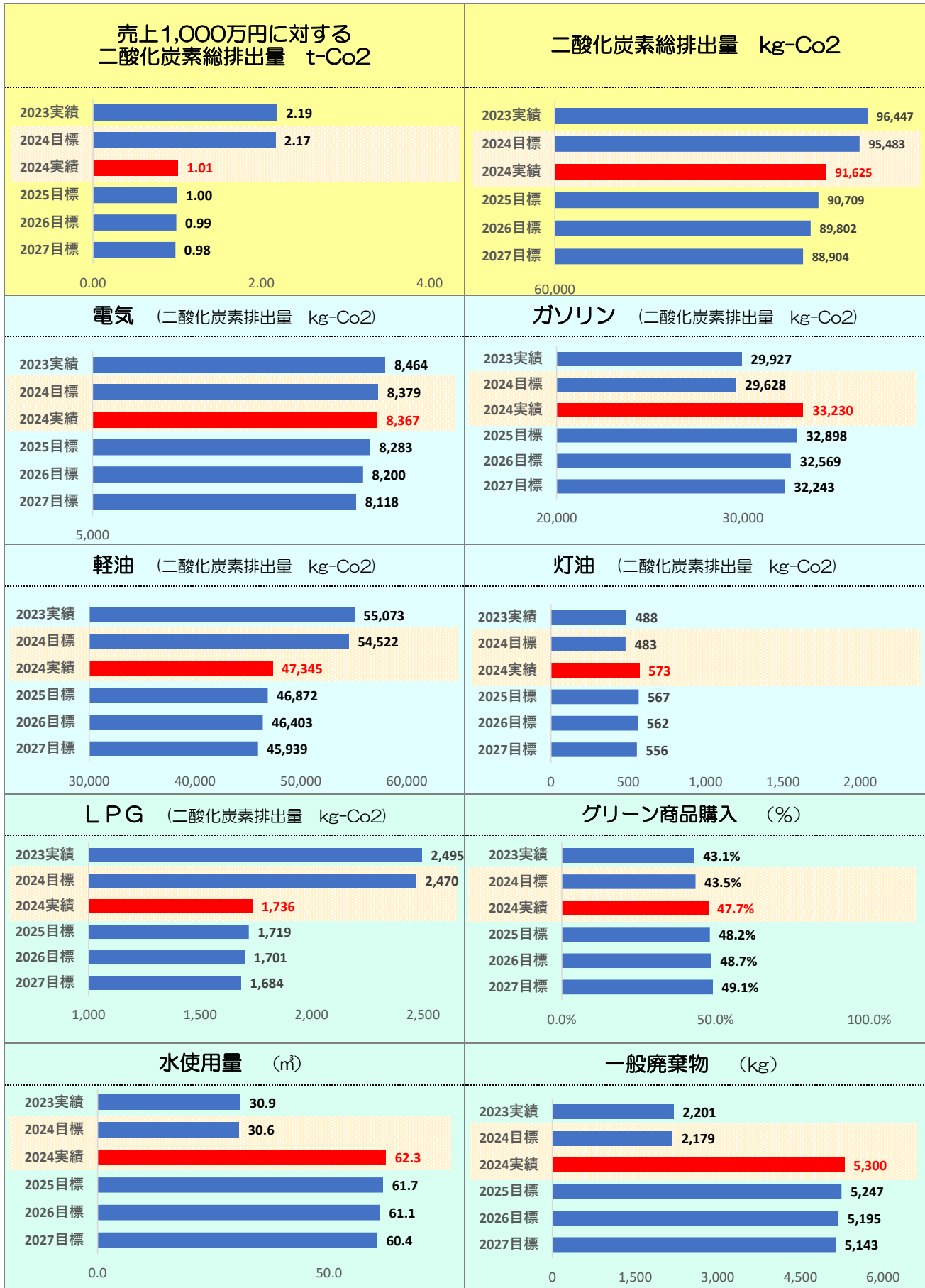


	年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
教育訓練活動	回数	8	8	8	8	8
奉仕活動	回数	24	24	24	24	24
緊急時の対応訓練	回数	2	2	2	2	2
油脂類及び化学物質の適正な管理	回数	○	○	○	○	○
環境法規等の遵守状況	回数	○	○	○	○	○
苦情及びクレーム等の状況	回数	無	無	無	無	無
委員会の開催状況	回数	4	2	2	2	2
建設廃棄物リサイクル	%	100	100	100	100	100

# 今年度の目標と実績・次年度の目標 環境効率性

前年度の数値を参考値として1%削減を目標にしている。

※購入電力の Co2 排出係数は、九州電力の2023度の係数 0.417kg/kwh を用いた。



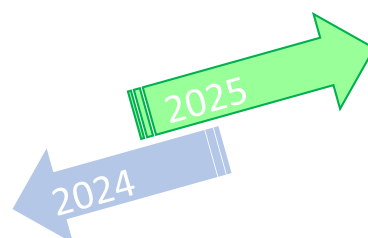
	年	2023実績	2024目標	2024実績	2025目標	2026目標
教育訓練活動	回数	8	8	8	8	8
奉仕活動	回数	24	24	24	24	24
緊急時の対応訓練	回数	2	2	2	2	2
油脂類及び化学物質の 適正な管理	回数	〇	〇	〇	〇	〇
環境法規等の遵守状況	回数	〇	〇	〇	〇	〇
苦情及びクレーム等の状況	回数	無	無	無	無	無
委員会の開催状況	回数	4	2	2	2	2
建設廃棄物リサイクル	%	100	100	100	100	100

分析項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO2総排出量 kg-co2	86,232	95,035	98,050	96,447	91,050
完成工事高 百万円	267	360	361	439	906
化石燃料：電力 %	92:8	93:7	93:7	91:9	91:9
九電排出係数	0.344	0.305	0.305	0.305	0.417
環境効率性EE値万円/t-co2	310	389	369	456	996

売上1,000万円に対する二酸化炭素総排出量t-Co2は大きく減少しているが、  
数値だけでは判断できない部分もあります。

理由として、売上の大幅増加は長期間にわたる工事の完成や、土木工事の受注増があり、  
下請業者へ発注している分は燃料等の自社消費なかったり少なかったりするからです。  
そういった状況に影響されにくい電気が前年より少し減少していることに目を向け、次  
年度も継続したいです。

水ですが、外トイレの故障を考えたもここまで増加する原因は正直不明です。  
一般廃棄物の増加も特に大きな原因が見当たらない現状です。



## 環境活動内容と評価

前年度の活動結果を踏まえ、次年度の活動項目及び活動手順を設定する。  
 但し、工事の受注状況等また、工事の内容等によっては、見直す場合もある。

活動項目	活動手順	活動時期	評価	
			事業所 部門	工事 部門
電気使用量の削減	昼休み時や使用していない部屋の空調や照明は消す(室内温度 夏季・30度以上 冬期・15度以下の場合のみ使用する)	日々	▲	▲
	クールビズ及びウォームビズなどによる冷暖房器具の使用低減	6月 11月	○	○
	LED照明の推進	日々	▲	▲
	照明器具及び空調設備の清掃		▲	▲
ガソリン・軽油・灯油の使用量の削減	建設機械及び車両の整備点検及び清掃	日々、 運行前等	○	○
	急発進・急加速の禁止	日々	○	○
	アイドリングの禁止		○	○
	乗合せなど、無駄のない使用を心掛ける		○	○
	交通法規を遵守し交通安全に努める		○	○
	現場の規模や作業内容に応じた建設機械を使用する	作業時	/	○
	作業効率の良い建設機械の操作に心掛ける		/	○
	過積載の禁止及び定格出力に合った建設機械の使用を行う		/	○
液化ガスの使用量削減	ふきこぼれ等に注意する	日々	○	/
	ガスレンジの清掃		○	/
	ガス管の損傷及び劣化状況のチェック		○	/
	ガスボンベの腐食や劣化の点検	作業時	/	○
	作業内容に応じたガスバーナーの炎の調整		/	○
一般廃棄物排出量の削減	分別の徹底	日々	▲	/
	コピー用紙裏面の活用		▲	/
	ミスプリントの防止		○	/
	ペーパーレスのため、社内文書のやり取りは電子化する		▲	/
	使用済封筒の活用		○	/
	リサイクル業者の活用		○	/
	その都度	○	/	
グリーン商品の購入	事務用品・備品等はなるべくグリーン商品を購入する	購入時	▲	/
	再生材料を使用する		/	▲
建設廃棄物の管理及びリサイクル促進	マニフェスト伝票の管理	発生時	/	○
	廃棄物の分別の徹底		/	○
	型枠等の使用済建設資材の再利用促進		/	○
油脂類や化学物質等の管理	危険物及び油脂類の適正な保管管理	日々	/	○
水資源使用量の削減	譲許に応じた水も使用方法	日々	○	/
	水道設備の損傷及び劣化のチェック	日々	○	○
清掃	事務所内の清掃	日々	○	/
	倉庫・敷地内の清掃状況	日々	/	○
<b>共通事項</b>				
教育活動	年2回の開催を計画しているが、活動結果が著しく悪い場合は、臨時的に招集し再教育を行う	1月～3月	○	○
奉仕活動	事務所周辺・現場内及び現場周辺の清掃	日々	○	○
緊急時の対応訓練	火災・油類及び危険物等の流出・けが等を想定した訓練を行う	1月～12月	○	○
環境県連法規等の遵守状況	富士グローバルネットワークのHPに掲載の環境関係法規チェックリストを参考に当社にあった項目を抽出し日々チェックする	7月～9月	○	○
苦情クレーム等の発生状況及び処理状況	苦情・クレーム等の発生時において、クレーム処理の結果を検査し改善する	日々	○	○
委員会の開催	年2回の開催を計画しているが、活動結果が著しく悪い場合は、臨時的に招集し再教育を行う。PDSAサイクルの状況確認	1月・7月	○	○

## 次年度の環境活動計画

前年度の活動結果を踏まえ、次年度の活動項目及び活動手順を設定する。  
 但し、工事の受注状況等また、工事の内容等によっては、見直す場合もある。

活動項目	活動手順	活動時期	
		事業所 部門	工事 部門
電気使用量の削減	昼休み時や使用していない部屋の空調や照明は消す(室内温度 夏季・30度以上 冬期・15度以下の場合のみ使用する)	日々	
	クールビズ及びウォームビズなどによる冷暖房器具の使用低減	6月・11月	
	LED照明の推進	日々	
	照明器具及び空調設備の清掃		
ガソリン・軽油・灯油の 使用量の削減	建設機械及び車両の整備点検及び清掃	日々、運行前等	
	急発進・急加速の禁止	日々	
	アイドリングの禁止		
	乗合せなど、無駄のない使用を心掛ける		
	交通法規を遵守し交通安全に努める		
	現場の規模や作業内容に応じた建設機械を使用する	作業時	
	作業効率の良い建設機械の操作に心掛ける		
	過積載の禁止及び定格出力に合った建設機械の使用を行う		
液化ガスの使用量削減	ふきこぼれ等に注意する	日々	作業時
	ガスレンジの清掃		
	ガス管の損傷及び劣化状況のチェック		
	ガスボンベの腐食や劣化の点検		
	作業内容に応じたガスバーナーの炎の調整		
一般廃棄物排出量の削減	分別の徹底	日々	その都度
	コピー用紙裏面の活用		
	ミスプリントの防止		
	ペーパーレスのため、社内文書のやり取りは電子化する		
	使用済封筒の活用		
	リサイクル業者の活用		
グリーン商品の購入	事務用品・備品等はなるべくグリーン商品を購入する	購入時	購入時
	再生材料を使用する		
建設廃棄物の管理及びリ サイクル促進	マニフェスト伝票の管理	発生時	
	廃棄物の分別の徹底		
	型枠等の使用済建設資材の再利用促進		
油脂類や化学物質等の管理	危険物及び油脂類の適正な保管管理	日々	
水資源使用量の削減	水道設備の損傷及び劣化のチェック	日々	
清掃	事務所内の清掃	日々	
	倉庫・敷地内の清掃状況	日々	
<b>共通事項</b>			
教育活動	年2回の開催を計画しているが、活動結果が著しく悪い場合は、臨時的に招集し再教育を行う	1月～12月	
奉仕活動	事務所周辺・現場内及び現場周辺の清掃	日々	
緊急時の対応訓練	火災・油類及び危険物等の流出、水道管破裂を想定した訓練を行う	1月～12月	
環境関連法規等の遵守状況	富士グローバルネットワークのHPに掲載の環境関係法規チェックリストを参考に当社にあった項目を抽出し日々チェックする	8月～9月	
苦情クレーム等の発生状況及び処理状況	苦情・クレーム等の発生時において、クレーム処理の結果を検査し改善する	日々	
委員会の開催	年2回の開催を計画しているが、活動結果が著しく悪い場合は、臨時的に招集し再教育を行う。PDSAサイクルの状況確認	1月・7月	


















＜油流出に伴う処理訓練・消火訓練・水道管破裂訓練＞



＜ボランティア清掃・除草＞



# 保有車両

登録番号	車両名・車種	車体番号	型式	原動機の型式	写 真
熊400て738	2tダンプトラック	NJR85-7022169	SKG-NJR85AD	4JJ1	
熊400な6939	3 t ダンプ	NKR85-7072609	TPG-NKR85AD	4JJ1	
熊100す6433	4tダンプトラック	FRR90C3S-7003825	ADG-FRR90C3S	4HK1	
熊400ち6376	キャブオーバ	NHR85-7003179	BKG-NHR85A	4JJ1	
熊400ぬ7231	キャブオーバ	FBA-603079	2RG-FBA20	4P10	
熊11ゆ4950	キャブオーバ 6tユニック車	FSR33K43000293	KC-FSR33K4	6HH1	
熊000る383	アスファルトフィニッシャ	SMTA60WDV00000189	HA60W	4JJ1	
熊00ろ926	コマツ グレーダー	G40A2-1264	G40A2 (GD405)	6D95L	
熊000さ131	サカイ ロード・ローラ	RR2-12264	RR2 (R2)	W04D	
熊000さ130	サカイ タイヤ・ローラ	TTS450438	TTS4改 (T600)	6BG1	
熊000さ466	サカイ タイヤ・ローラ	1TZ3-51338	YDN-1TZ3 (Tz704)	V3800	
天草市・3740	サカイ 4tコンバインドローラ	ITW74-31221	TW504型 (TW504)	D1703-DI-K3A	
天草市・322	サカイ 4 t ローラ	TW500W-1	TW500W-1 (TW500)		
	クボタ ミニバックホー		U-30-6A		
	クボタ ミニバックホー		U-30-5	D1703-EDM	
	クボタ ミニバックホー		RX505	V2203-EDM	
天草市・4498	フォークリフト	620066	FG15C-16	トヨタKA280	
熊480そ6453	スバル・軽トラック	S201J-0001135	EBD-S201J	KF	
熊480ふ2543	ダイハツ・軽ダンプ	S510P-0476189	3DB-S510P	KF	

## EA-2 | 全体会議

1月と7月に全体会議を行ない、各議題に沿って話し合った。

### ■ 議題（議事録より抜粋）

1. 労働災害事故防止について
2. 人材育成について



### ■ 決定事項（議事録より抜粋）

1. 休息時間の確保、自覚症状の有無にかかわらず水分・塩分の積極的摂取。  
少しでも体調の変化があった場合は必ず近くの従業員へ報告し休憩する。  
現場責任者への報告も忘れない。
2. 今年2名入社した。今後の雇用促進のためにも  
丁寧に厳しく教え戦力となるように育成する。

## 過去3年間の関係法規等の遵守状況と違反訴訟の有無

環境法規規制等遵守チェックリストを作成し定期的またはその都度チェックしている。  
主なチェック項目は次のとおりである。（チェックリストより抜粋）

1. 廃棄物処理法における産業廃棄物の委託処理
2. リサイクル法における解体工事、土工事、外構工事、型枠工事、木工事
3. 再生資源利用省令による解体工事、土工事、外構工事
4. 高圧ガス保安法における高圧ガスボンベ使用
5. 道路交通法、道路法における道路環境保全
6. フロン排出抑制法における機器の所有者（管理者）によるフロン漏えい点検

上記以外にも、アイシーソフト環境法令室発行の環境LDB法令集〈建設工事編〉の最新版を購入し「環境法規規制等順守チェックリスト」（環境チェックリスト）

尚、2024年12月31日現在、建設業法、その他の関係法規は遵守しております。

## 代表者による全体評価と見直し結果

大幅な売上増となり成長した年でした。

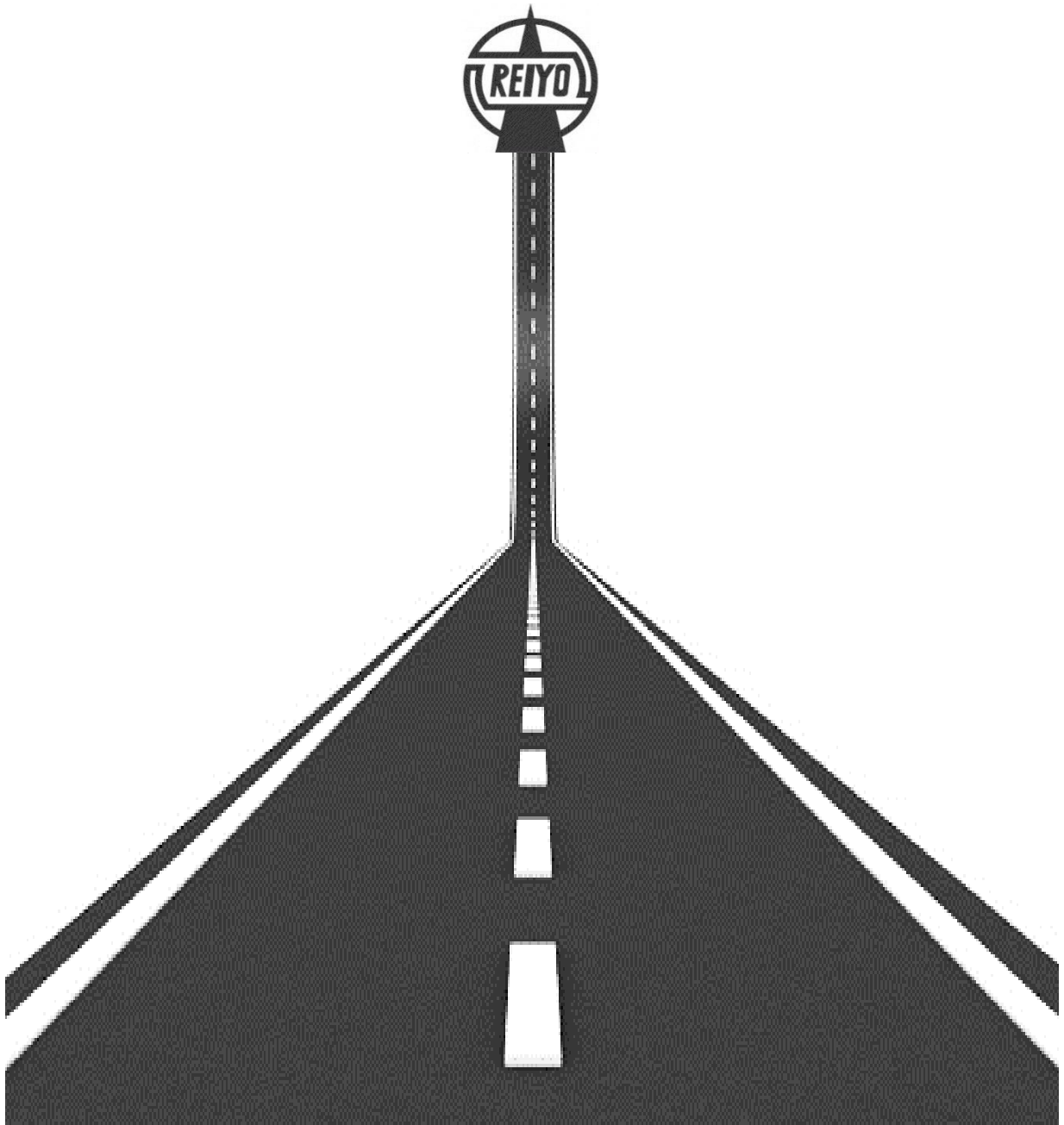
今後機械や車両更新の際は、低燃費や環境負荷の少ない物を選定し導入するようにします。長年取り組んでいるエコアクションですが、新たな目線で見えてくるものがあると思いますので、全従業員積極的な発言や提案を行なってほしいです。自分たちのエコアクションを作って行きましょう。

熊本県SDGs登録事業も無事更新でき、近づいてくる2030年に向けて自社なりに日々の小さな活動にも力を入れていきましょう。

今まで以上に地域に貢献できる企業として努力し、社会環境を考えた施工に取り組みましょう。

2025年9月1日

苓陽工業株式会社  
代表取締役 毛利尚之



熊本県天草市本渡町本渡4475-1

苓陽工業株式会社

発行 2025年9月